NEKO PUBLISHING CO ,.LTD.

NEKO MOOK

LOTUS ELISE＆EXIGE PERFECT BOOK

”ロータス流クルマ造りを徹底分析”

2015年10月下旬発売

エリーゼ･エキシージ オーナー、必見の1冊

〒153-8545 東京都目黒区下目黒2-23-18 目黒山手通りビル
TEL 03-5745-7801 FAX 03-5745-7811
株式会社 ネコパブリッシング
広告本部

【はじめに】

エリーゼ・エキシージはモデル末期とはいえ、その人気は中古車を含め盛り上がりをみせております。本書は、エンジン徹底解説を柱に、ランニングコンポーネンツの詳細な解説いたします。編集の基調は、新旧気になるエリーゼ＆エキシージをメカニズム視点で、“ロータス流”をきちんと説明いたします。

【コンテンツ】

第1章

「ロータス流クルマ造りを観る」

少量生産の不変性と先進性の現場レポート

最新のEliseはどのように造られているか。フェーズⅠとフェーズⅡでは生産工程/方法が異なる部分が多い。ロータス流、少量生産の不変性と先進性を、当時のフェーズⅠの生産工程の写真と比較して考察。その工業製品としてのレベルアップぶりを巻頭ビジュアルで紹介します。詳細は第3章で解説。ここでは、あくまで巻頭ビジュアルにて、ロータスのクルマ造りの現場レポートし1台1台造るクラフトマンシップを紹介いたします。フェーズⅡは動画連動の紹介も展開する予定です。

第2章

「モデル展開解説」

フェーズⅠ　:1999-2001年：11/111S/エキシージMk.1
フェーズⅡ　:2001-2011年：スタンダード/111S/111R/エリーゼS/エリーゼR/エリーゼSC/エキシージS
フェーズⅢ　:2011-2015年：エリーゼ1.6/エリーゼCR/エリーゼS
派生モデル　:340R/340R-01/2-Eleven

さらに、

バイヤーズガイド「エリーゼが欲しい」
として、これから購入される方に向けて発信いたします。

NEKO PUBLISHING CO ,.LTD.

「ロータス流を分析する」 エンジンの味付けはECUで決まる

■エンジン:ローバー1.8Kシリーズ

ムービングパーツのCAD/CAM分析によりデイリーユースでは、その性能の違いが表面にでることがなくなっている昨今、エンジンの“性能差”あるいは“味付け”はECUによって決まる。ローバーeng.はMEMSで動くが、そのローバーeng.にロータスはどのような“味付け”を施して、ロータス流スポーツeng.に仕上げたか？この時代には、X-POWER、VHPDさらにはミニスターレーシングといった組織が生まれ、ロータス・スポーツが極少量生産のハイパフォーマンス・エリーゼを送り出していた。そんな時代に生み出されたロータスeng.のヒストリーを縦軸に、ECUの“ロータス流”味付けを横軸にした記事内容を展開。いまKシリーズ・エリーゼに乗るユーザーのメンテナンス知識、あるいはバイヤーズガイドのメカニズム面からのフォローとなる記事展開とします。

■エンジン:トヨタ2ZZ-GE/1ZZ-FE/ZR-FE

トヨタeng.にロータスはどのような“ロータス流味付け”を施したか？　EFIエンジニアリングから購入したハード＆ソフトとトヨタeng.のECUをコンフィグし、LotusT4e engine-managementへとまとめ上げた開発ヒストリーをロータス・エンジニアリングへの取材を通して紹介。OBDⅡへの対応、M45/M62ルーツ式スーパーチャージャー＋C56/C64M/Tとのマッチングなどの周辺事情を交えた展開までフォローします。

「鉄板でボディを造らないのがロータス流」 VARI工法からSMCへ

Elite/Elanの時代はハンドレイアップ、Europaの時代はスプレーアップという前時代的なFRP工法でボディシェルを造っていたロータスだったが、Espritの時代になるとVARI（Ｖａｃｕｕｍ Ａｓｓｉｓｔｅｄ Ｒｅｓｉｎ Ｉｎｆｕｓｉｏｎ）工法を導入、EliseもフェーズⅠはこのVARI工法で造られた。が、フェーズⅡになってSMC（Sheet Molding Compound）工法へと発展。従来の社内製作からアウトソーシングへと変更。味わい、メンテナンス、工業製品としての完成度etcの視点から、ロータスのボディデザインを現地取材します。

「シャシー/サスペンション構造」 あくまでレーシングカー的にキーテクノロジーはアルミフレーム・モノコックシャシ

EliteはFRPによるフルモノコックだったが、Elanからはメインフレームを持ち、それのアーム長の長いサスペンションを組み合わせてきたのが“ロータス流”。ロータスの歩んだシャシー/サスペンション構造の歴史を紹介。その伝統の上に成り立つアルミモノコックシャシーを紹介。同時にアルコア社、ハイドロ・アルミニウム・オートモーティブ・ストラクチャー社、さらには、エポキシ樹脂接着の最先端技術を現地取材にて紹介。エリーゼの接着剤として使われているのは、チバガイギー社の製品。その耐久性や工法がいかにEliseをライトウエイトたらしめているかを紹介します。

「サスペンションのセッティング分析」

アライメント、ウエイトディトリビューション、アイバッハのバネレート、ビルシュタインのダンパー減衰力。各項目を測定し、“ロータス流ライトウエイトの足回り”を考察。併せてアフターマーケットのチューニングパーツも紹介。そのセッティング意図を聞きます。

第4章
「エリーゼ搭載エンジン解説」

ローバー1.8Kシリーズ4F/4K　：eng.基本構成パーツ紹介+チューニングパーツ紹介
トヨタ2Z-GE/1ZZ-FE/ZR-FE　：eng.基本構成パーツ紹介+チューニングパーツ紹介

※コンテンツは予告なしで変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

エリーゼ・エキシージオーナーにとっては「永久保存版」の1冊になります!

広告料金のご案内

表4	定価¥1,100,000	272×226
表3	定価¥　800,000	297×232
表2	定価¥　900,000	297×232
表2見開	定価¥1,500,000	297×464
カラー1P	定価¥　400,000	297×232
カラー1/2	定価¥　240,000	128×212(枠付)
モノクロ1P	定価¥　270,000	297×232
モノクロ1/2	定価¥　200,000	128×212(枠付)

※広告入稿スケジュール
オーダー　9月中旬
入稿　9月下旬
(あらためてご案内いたします。)

※タイアップ/取材協力費も
承りいたします。
お気軽にご相談ください。

細部も詳しく解説

好評発売中

PERFECT BOOKシリーズ
第1弾
「ケータハム スーパー7」は多くの読者様から支持を得ております。今回はその第2弾となります。エリーゼ・エキシージ オーナーにはもちろん、これから購入される方にも必須の1冊になることは間違いございません!